

stratix

# eZ-2D Xaminer

エグザマイナー-eZ-2D ポータブル二次元

イメージャー検証機

ユーザーマニュアル

2018.9.7

**MUNAZO INC.**

**ムナゾ株式会社**

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中 6-9

神戸ファッションマート 10F

Phone 078-857-5447 Fax078-857-5443

E-mail:munazo@munazo.jp

<http://munazo.jp>

## 目次

<b>章 1 はじめに</b> .....	<b>4</b>
開梱.....	4
システム必要条件.....	4
ソフトウェアのインストール手順.....	5
キャリブレーションファイルのインストール.....	5
スキャナドライバのインストール.....	5
検証機ソフトウェアのインストール.....	5
検証機のインストール.....	12
スタンドの位置及び視野(FOV=Field of View).....	13
バーコードシンボルを置く.....	14
検証可能なバーコードシンボルの種類.....	16
検証機のソフトウェアを開く.....	17
<b>章 2 検証機を使う</b> .....	<b>18</b>
検証機でデータを見る.....	18
検証機をコントロールする.....	19
検証機のツールバーボタンのコマンド.....	20
シンボルイメージ画面.....	22
シンボルグレード画面.....	23
シンボル統計画面.....	25
<b>章 3 ユーザー優先オプション</b> .....	<b>26</b>
パラメータ設定画面にアクセス.....	26
スタンド位置の設定.....	26
分析モードの設定.....	26
サンプル・ユーザー・ジョブ ID の設定.....	27
その他の設定.....	27
工場の設定にリセット.....	28
キャリブレーションチェック.....	29
注記.....	29
シンボルグレードの設定.....	30
画面のテキストサイズの設定.....	31
<b>章 4 GS1 データ構造の認証</b> .....	<b>32</b>
GS1 データ構造の認証の概要.....	32
GS1 アプリケーション識別子の詳細.....	32
GS1 データ構造.....	33

<b>章 5 レポートをエクスポート</b> .....	<b>34</b>
アドビ PDF ファイルにレポートをエクスポート.....	35
<b>章 6 エラーメッセージ</b> .....	<b>38</b>
システムエラーメッセージ.....	38
スキャナのリセット.....	40
付録 A : 2D バーコードサンプル.....	41

# 章1 はじめに

## 開梱

梱包の中身を確認してください。エグザマイナー-eZ-2D ポータブル二次元イメージャー検証機には下記のものが含まれますので、すべて揃っていて、破損・損傷などがない事を確認してください

- キャリーケース
- イメージスキャナ及び USB インターフェイスケーブル
- スタンド
- キャリブレーションファイル CD1
- 検証機ソフトウェア及びイメージスキャナドライバ CD2
- インストールガイド
- 製品に関する説明書
- キャリブレーションチェックカード
- キャリブレーション証明書

もしなにか抜けていましたら、早急にご連絡ください。

## システム必要条件

- Windows 7 (32/64 ビット)、Windows 8 (32/64 ビット)
- インテル コア 2 デュオ プロセッサ
- 2G RAM
- USB ポート 2.0
- Microsoft.NET Framework 4.0 又はそれ以降
- Microsoft Visual C++ 2010 Redistributable Package (x86)
- Microsoft Excel, Microsoft Internet Explorer
- Adobe Reader

## ソフトウェアのインストール手順

Stratix Xaminer eZ-2D にはウィンドウズ PC にインストールされる 2 枚の CD が含まれています。ウィンドウズ 7 にインストールするためにはアドミニストレータの特権が必要です。

1. Stratix Xaminer eZ-2D キャリブレーションファイル (CD1)
2. Stratix Xaminer eZ-2D スキャナドライバ及び検証機ソフトウェア (CD2)

ユーザーは (1) 検証機キャリブレーションファイル、(2) スキャナドライバ、及び (3) 検証機ソフトウェアの順番でインストールする必要があります。

### キャリブレーションファイルのインストール

CD 1 を閲覧して、Stratix.bat ファイルを実行して、いずれかのキーを押してインストールを完了します。

```

C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
Stratix\Stratix Xaminer eZ-2D\Calibration\STX0_1228900509598.cal
Stratix\Stratix Xaminer eZ-2D\Calibration\STX0_1228900509598.mak
Stratix\Stratix Xaminer eZ-2D\Calibration\STX1_1228900509598.cal
3 File(s) copied

Stratix Xaminer eZ-2D calibration files installation successful!
Press any key to continue . . .
    
```

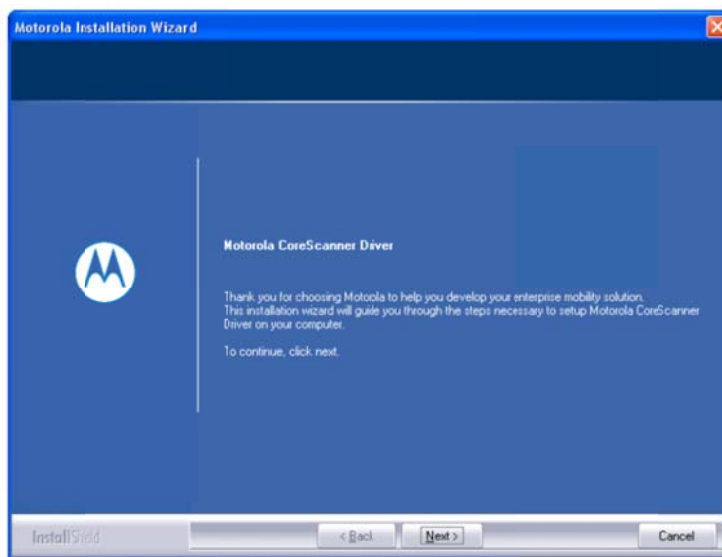
### スキャナドライバのインストール

下記順による指示書に従ってスキャナドライバのインストールを行ってください。

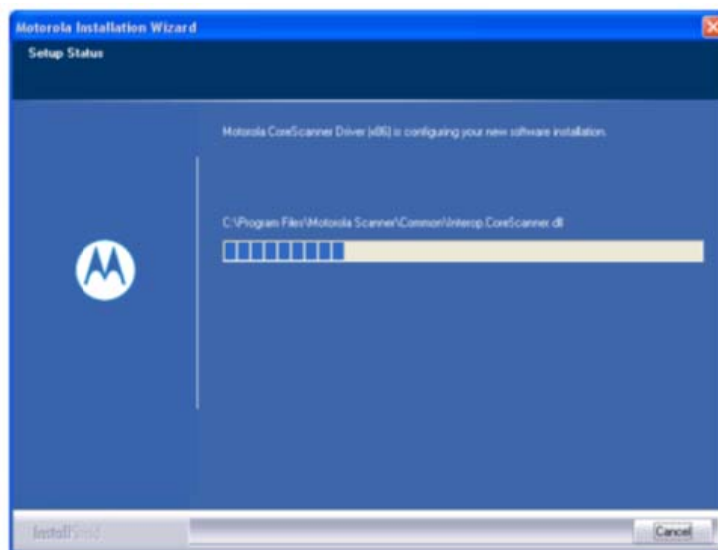
1. お使いの PC が 32 ビット又は 64 ビットかを確認してください。  
 スタートメニューを開き、すべてのプログラム-> アクセサリ -> システムツール -> システム情報 -> システムの種類をクリックしてください。  
 もし“システムの種類”が x86-ベースの PC であれば、32 ビット PC です。  
 もし“システムの種類”が x64-ベースの PC であれば、64 ビット PC です。
2. **CD2** を閲覧して、32 ビット PC の場合は Motorola\_CoreScanner\_Driver\_(x86).exe を実行、64 ビットの場合は Motorola\_CoreScanner\_Driver\_(x64).exe を実行してください。



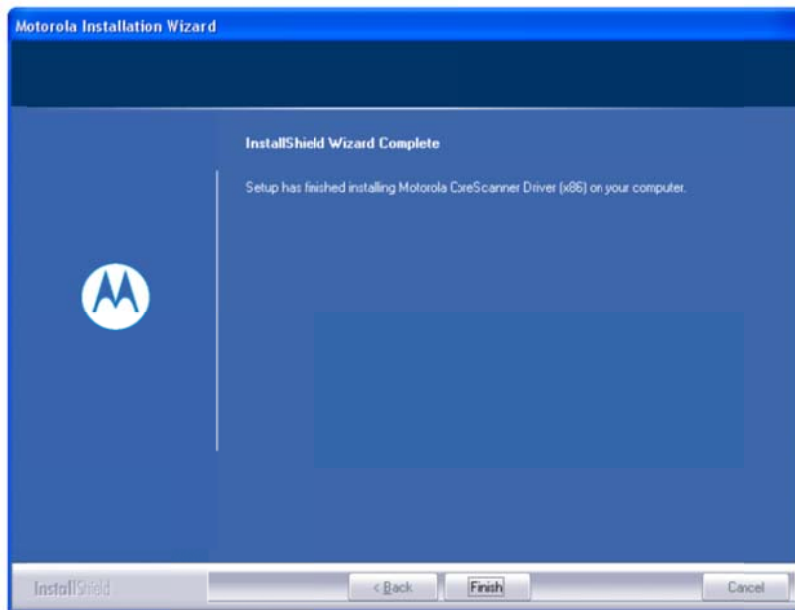
3. **NEXT** をクリックしてインストールの手順を進めてください。



4. インストールが完了するまで、お待ちください。

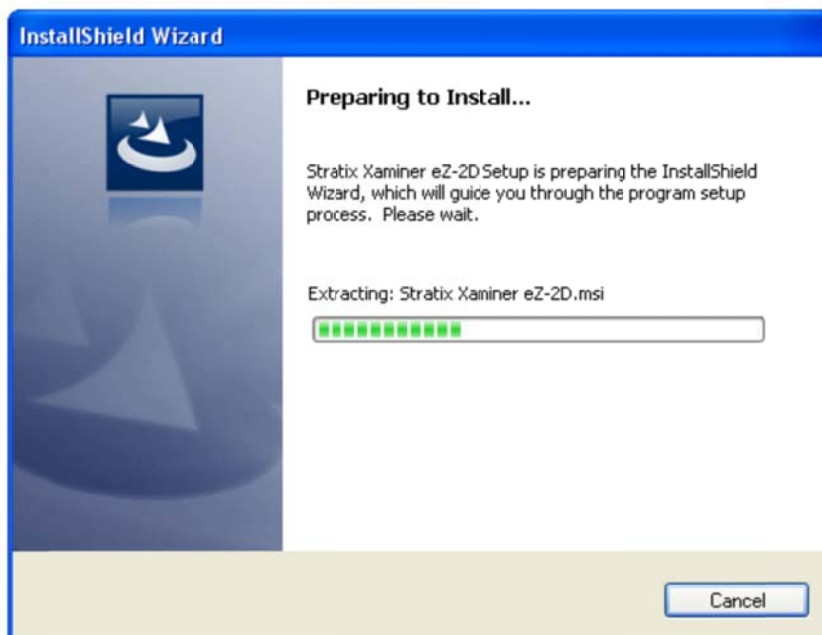


5. **Finish** をクリックして、インストールを完了してください。



### 検証機ソフトウェアのインストール

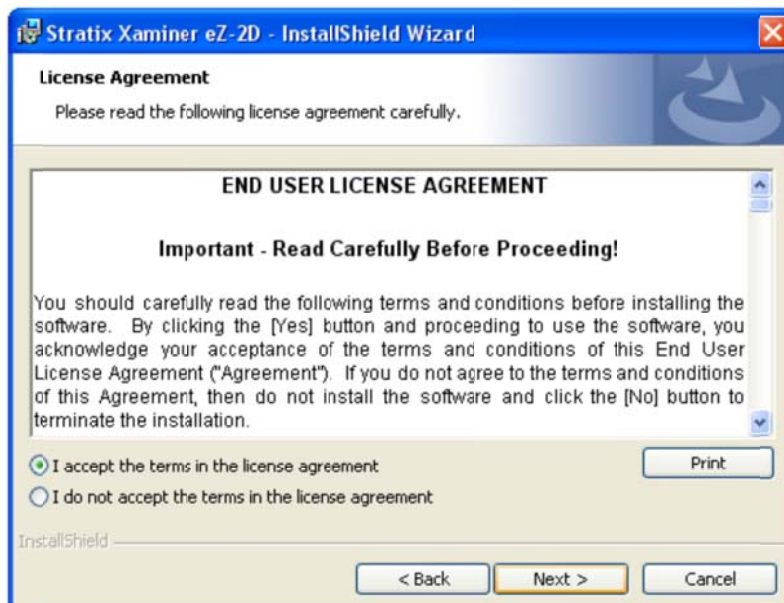
1. CD2 を閲覧して、**setup.exe** ファイルを実行して下さい。



- Next をクリックして、インストールを続けてください

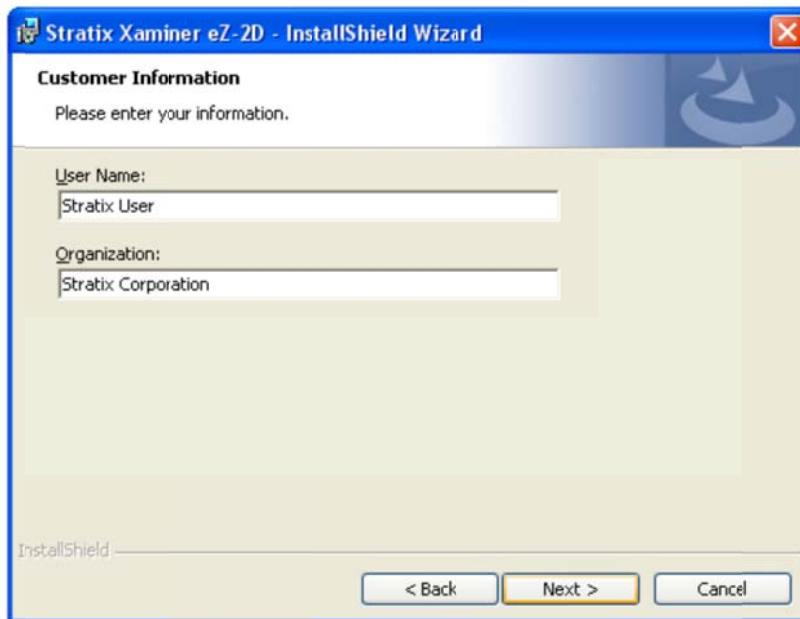


- ライセンス同意書を承諾の上、**NEXT** をクリックしてください。





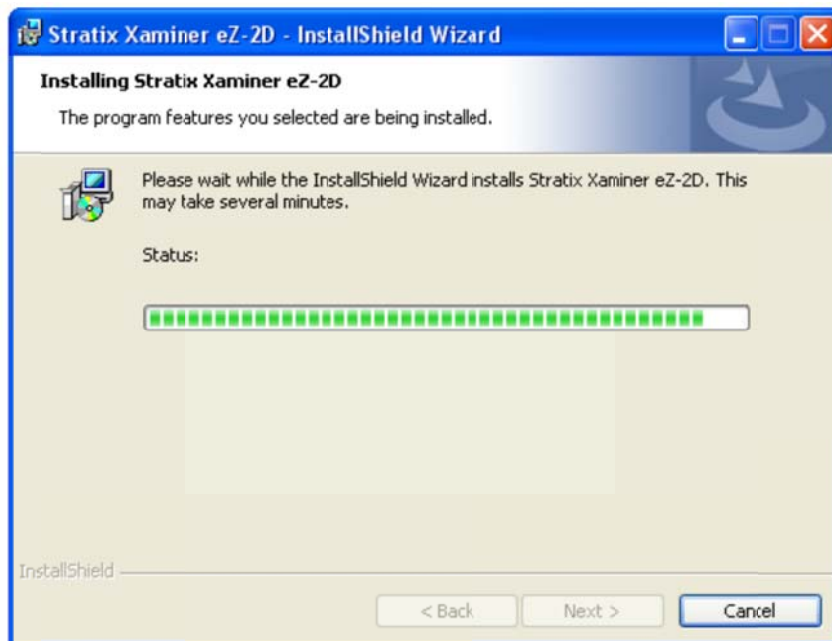
4. ユーザー名と会社名を入力して、**NEXT** をクリックしてください。



5. 情報が入力されましたら、**INSTALL** をクリックして下さい。



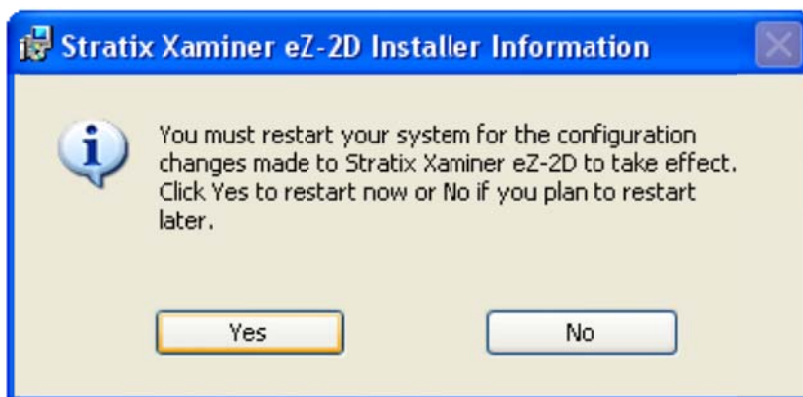
6. インストールが完了するまでお待ちください。



7. インストールが完了しましたら、**FINISH** をクリックしてください。



8. **YES** をクリックして PC を再起動して下さい。



## 検証機のインストール

1. USB ケーブルモジュラコネクタをイメージャースキャナハンドルの下にあるケーブルインターフェイスポートに差し込んでください。図 1-1 を参照。
2. ケーブルを少し引っ張って、コネクタがしっかり接続されている事を確認してください。
3. インターフェイスケーブルのもう一方をパソコンの USB ポートに接続してください。
4. 検証機のスタンドを平らなデスクの上に置いてください。
5. イメージャースキャナをスキャナのホルダ（カップ）に入れてください。図 1-2 を参照。

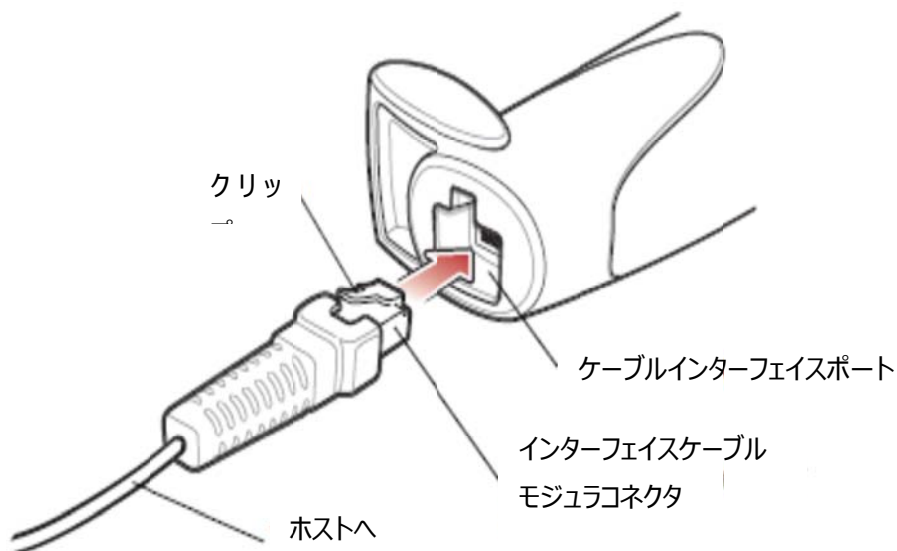


図 1-1

スキャナ  
ホルダ (カップ)



図 1-2

### スタンドの位置及び視野 (FOV=Field of View)



**スタンド位置 1 :** スタンドの位置その 1 はほとんどのバーコードの主要な検証位置です。この位置での視野 (FOV)は 1.10”(27.94mm) x 1.10”(27.94mm) (図 1-3 白い四角) で、検証可能最大バーコードサイズは 1.0”(25.4mm) x 1.0”(25.4mm)です。バーコードに必要な最小 X - 寸法は 10 ミルです。

**スタンド位置 2 :** スタンドの位置その 2 はスタンドの位置その 1 では検証するバーコードにとって視野(FOV)が小さすぎるような大きなバーコードの検証に使用します。このスタンド位置の 2 での視野(FOV)は 1.30”(33.02mm) x 1.30”(33.02mm) (図 1-4 白い四角) で、検証可能最大バーコードサイズは 1.2”(30.48mm) x 1.2”(30.48mm)です。バーコードに必要な最小 X - 寸法は 15 ミルです。

**注記：** プレートの表面の明るくなっている赤い角かつ赤い十字線がイメージスキャナの目標パターンです。十字線と視野(FOV)の相関的な位置はバーコードを視野(FOV)の中心に位置づけるのに役立ちます。

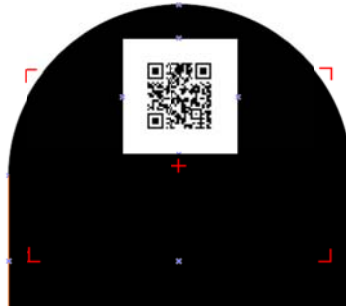


図 1-3 スタンドの位置その1の視野 (FOV)

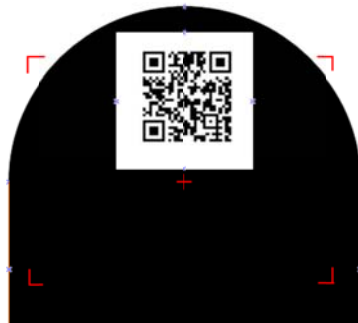


図 1-4 スタンドの位置その2の視野 (FOV)

### バーコードシンボルを置く

1. スタンド位置調節ピン (図 1-5) を手前に引き出して、上側のプレートを上下に動かし、スタンド位置を 1 又は 2 に移動してからピンをスタンド位置の穴に入れてください。(スタンド位置のデフォルトは 1 です)
2. ノブを緩めてバーコードシンボルを上側のプレートと下側のプレートの間に置けるスペースを確保するために下側のプレートを下げてください。
3. バーコードサンプルを下側のプレートの表面に置いて、バーコードシンボルが上側のプレート方向に向いている事を確かめてください。
4. 下側のプレートが上側のプレートに到達するまで引き上げてください。
5. バーコードが視野(FOV)の中央に収まるように位置を調整してください。
6. ノブを締めて検証を開始してください。

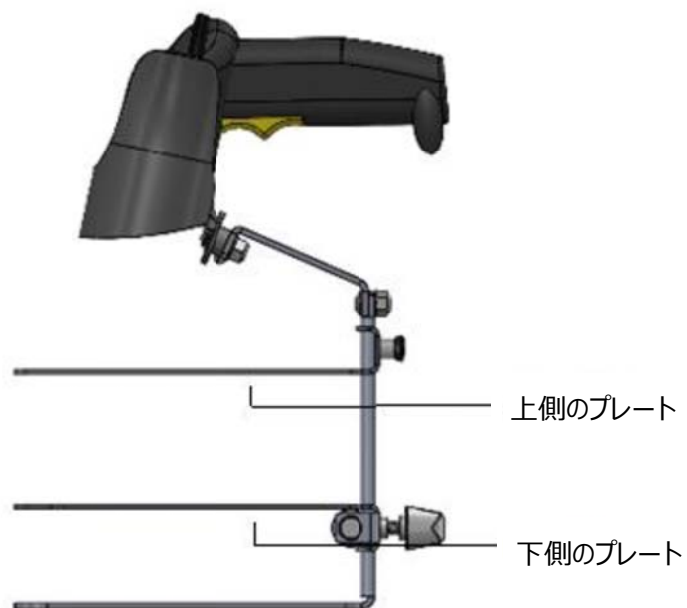


図 1-5(a)

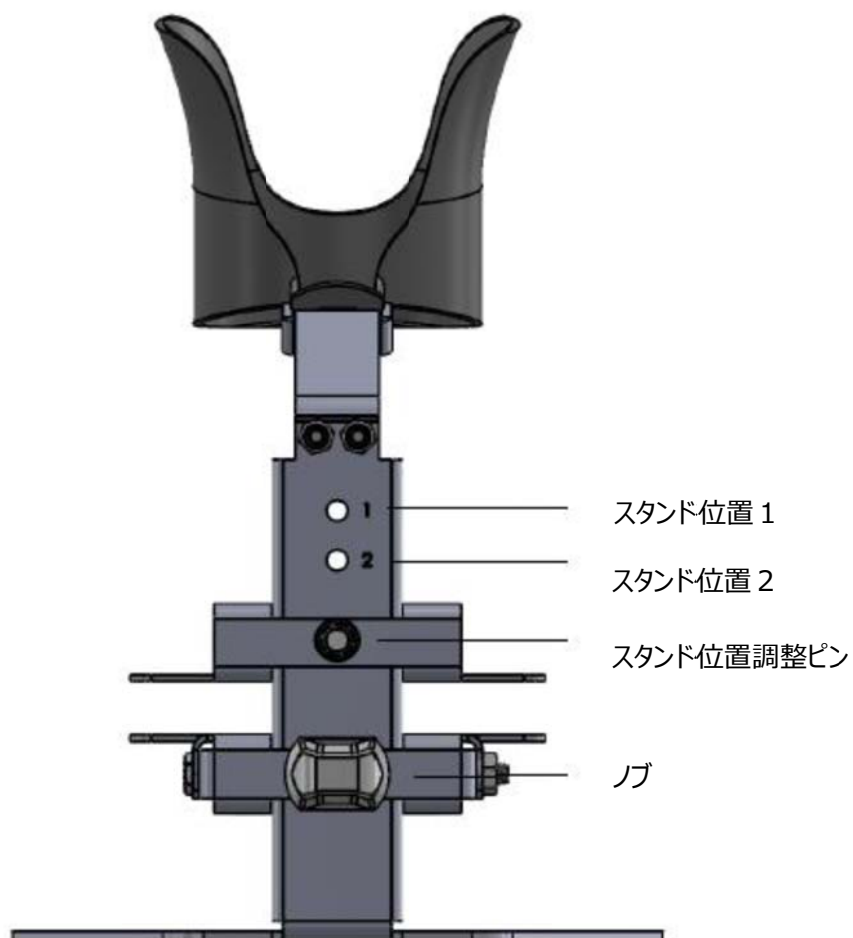


図 1-5(b)

## 検証可能なバーコードシンボルの種類

エグザマイナー-eZ-2D ポータブル二次元イメージャー検証機は 2 種類のシンボルをサポートしています： QR コード及びデータマトリックス(ECC 200)。

**QRコード**：最小シンボルモジュールサイズは 21 x 21 (1 型) で、最大シンボルモジュールサイズは 57 x 57 (10 型) です。図 1-6 を参照。

**データマトリックス**：最小シンボルモジュールサイズは 10 x 10 で、最大シンボルモジュールサイズは 52 x 52 です。図 1-7 を参照。



図 1-6 (a) 1 型



図 1-6 (b) 10 型



図 1-7 (a)



図 1-7 (b)

## 検証機のソフトウェアを開く

デスクトップにある“Stratix Xaminer eZ-2D”のアイコンをクリックしてください（図 1-8 を参照）。もしくはスタートメニューから“すべてのプログラム> Stratix Corporation>Stratix Xaminer eZ-2D.exe”（図 1-9）をクリックしてください。メイン画面が開きます。



図 1-8

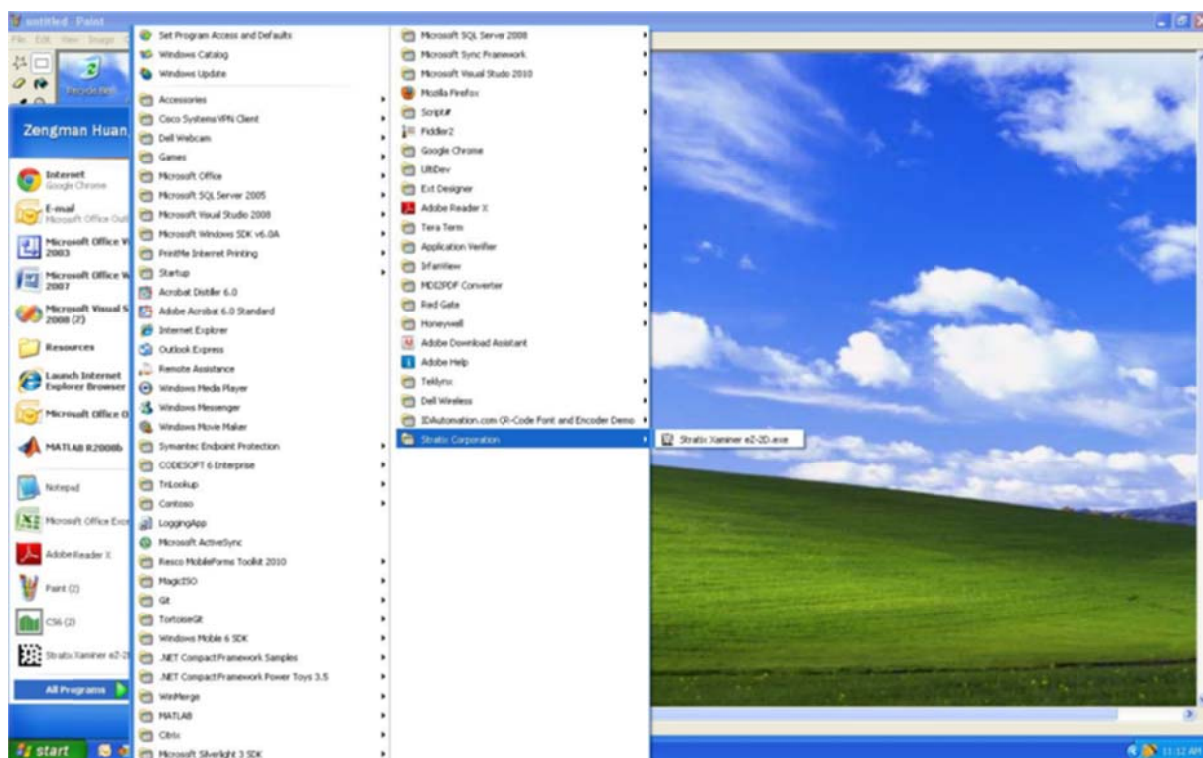


図 1-9



## 章2 検証機を使う

### 検証機でデータを見る

Stratix Xaminer eZ-2D をはじめて開けると、下記の図 2-1 のようにイメージ画像と詳細データと統計データの3つのウィンドウが表示されます。Stratix Xaminer eZ-2D を使用してバーコードをスキャンするとこれらのウィンドウに検証結果を表示します。(図 2-2)。

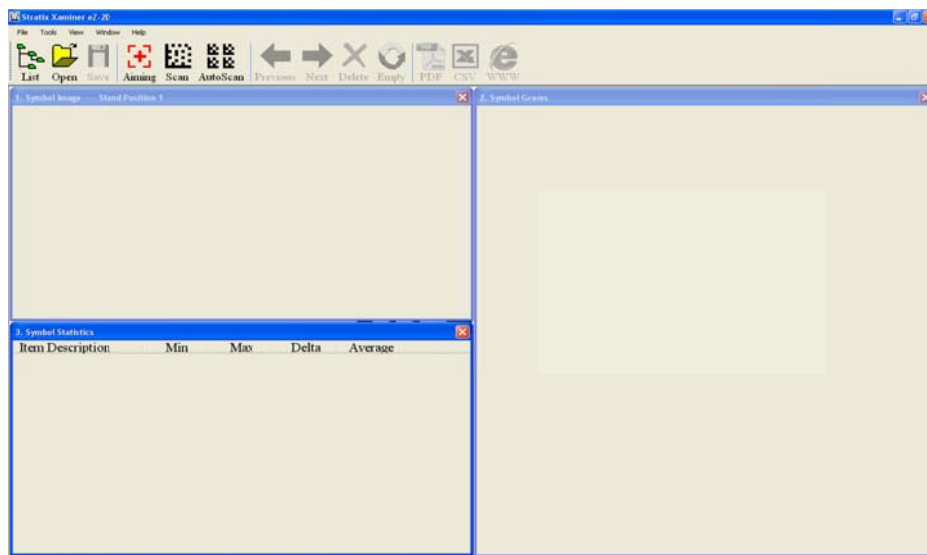


図 2 - 1

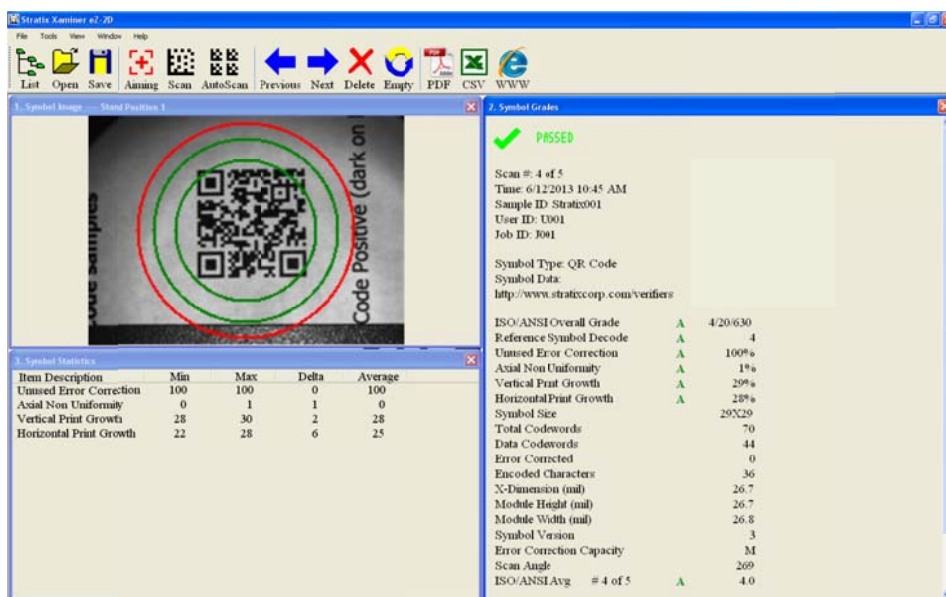
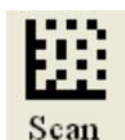


図 2 - 2

## 検証機をコントロールする コントロールアイコンの説明



**Aiming (目標を定める)** : バーコードを半円形の中の視野(FOV)の中央に置いて、“Aiming”ボタンをクリックしてください。これによって、イメージャースキャナからレーザービームが放射されます。



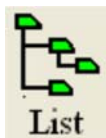
**Scan (スキャン)** : バーコードをスキャンするには“Scan”ボタンをクリックしてください。即座に結果が3つのデータのウィンドウに表示されます。



**Auto Scan (自動スキャン)** : 任意に設定したスキャン回数をスキャンしてそれらの平均グレードを求めるのに役立ちます。

自動スキャンを利用するためには……

1. Auto Scan ボタンをクリックしてください。
2. 自動スキャン画面が現れます (図 2 - 3) 。
3. “Total scan number to perform”のラベルが付いているところに必要なスキャン数を入力してください。
4. “Start”ボタンをクリックしてバーコードのスキャンを始めてください。設定したスキャン数が完了しますと、操作は自動的に終了します。



5. “List”ボタンを押すと、完了した各スキャン結果を見ることができます。

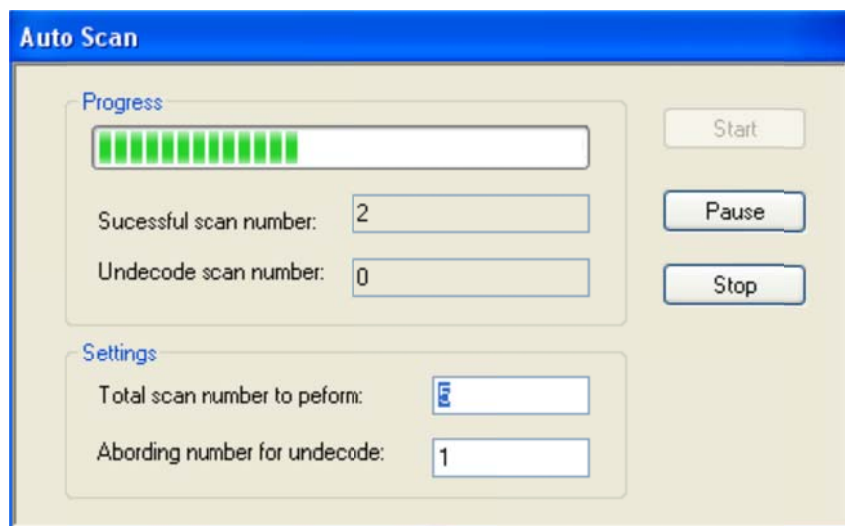


図 2 - 3

### 検証機のツールバーボタンのコマンド

#### コマンドアイコンの説明



**List (リスト)** : "List"ボタンは各検証スキャンを、メイン画面の左側にスキャンレポートツリーとして表示します。



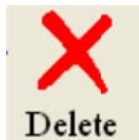
**Open (開く)** :保存されている Stratix Xaminer eZ-2D 検証レポートファイルを"Open"のボタンで開きます。



**Save (保存)** :検証レポートを保存するボタンです。



**Previous (前へ) or Next (先へ)** : このボタンにより、リストに保管されているどの検証レポートを見る事ができます。



**Delete (削除)** : このボタンはリストから選択した検証レポートを削除します。



**Empty (空)** : このボタンは、リストに保管されているすべての検証レポートを削除します。



**PDF:** この PDF ボタンは、選択した検証レポートの PDF ファイルを作成します。



**CSV:** この CSV ボタンは、リストにある検証結果を使ってエクセル CSV ファイルを作成します。



**GS1 Structure (GS1 構造)** : このボタンは現在の検証レポートのための GS1 データ構造を表示します。



**WWW:** WWW ボタンは現在の検証レポートのバーコードに埋め込まれている URL により インターネットエクスプローラのブラウザを起動します。

## シンボルイメージ画面



シンボルイメージ画面は視野のなかでシンボルの位置を示し、スタンド位置 1 又は 2 を画面のタイトルバーに表示しています。シンボルは必ず赤い円の中にあることを確認してください。視野のより中央にバーコードを近づけるためには 2 つのグリーンの円を利用してください。

図 2 - 4

### シンボルグレード画面

シンボルグレード画面（図 2 - 4）にはバーコードのシンボルデータ及び現在選択されているレポート用のシンボル検証結果を表示します。ツールバーにある“List”ボタンをクリックすることにより、現在作業中のすべてのレポートのどの検証結果をも表示します。

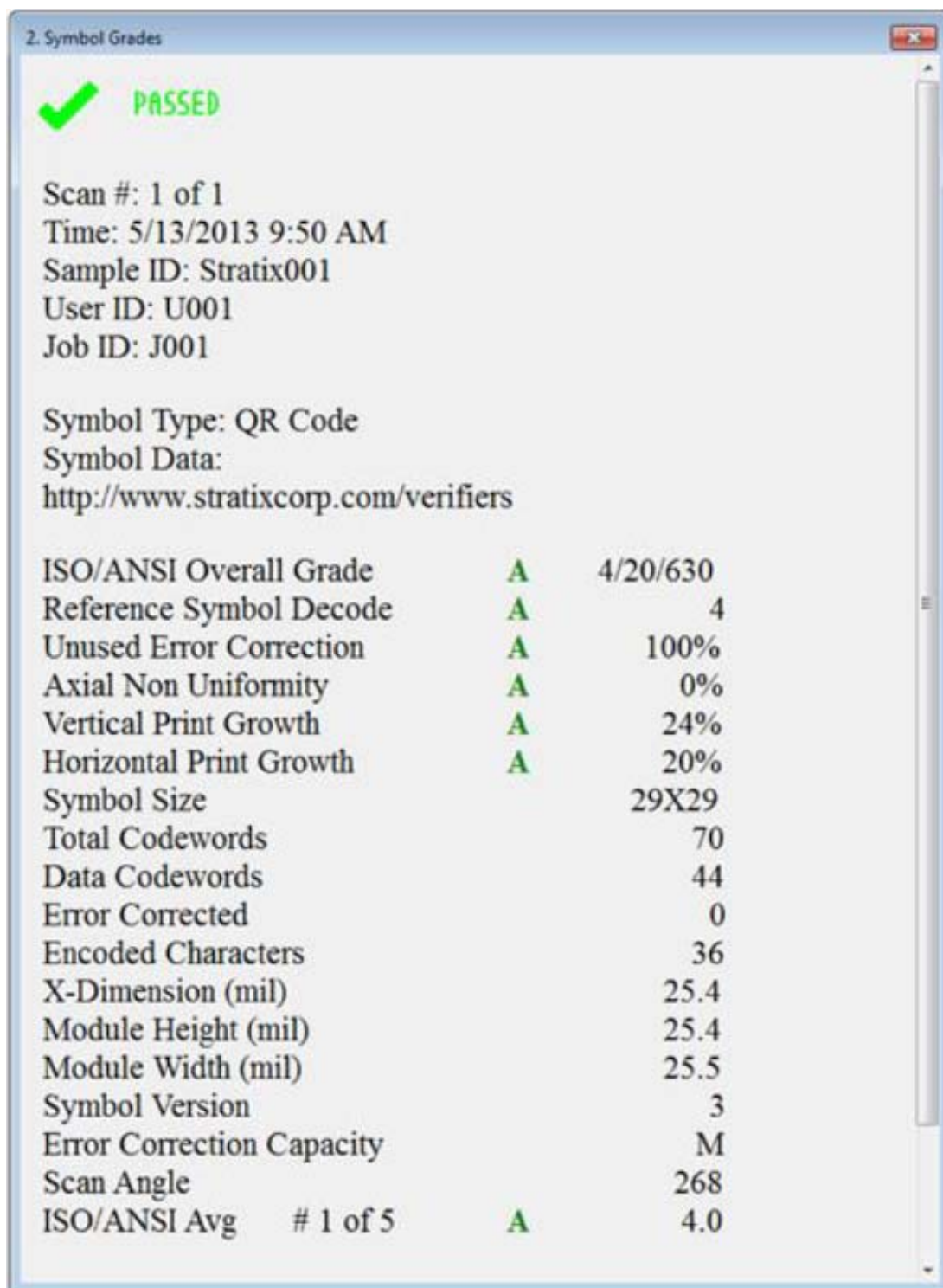


図 2 - 5 (a)QR コードのレポート

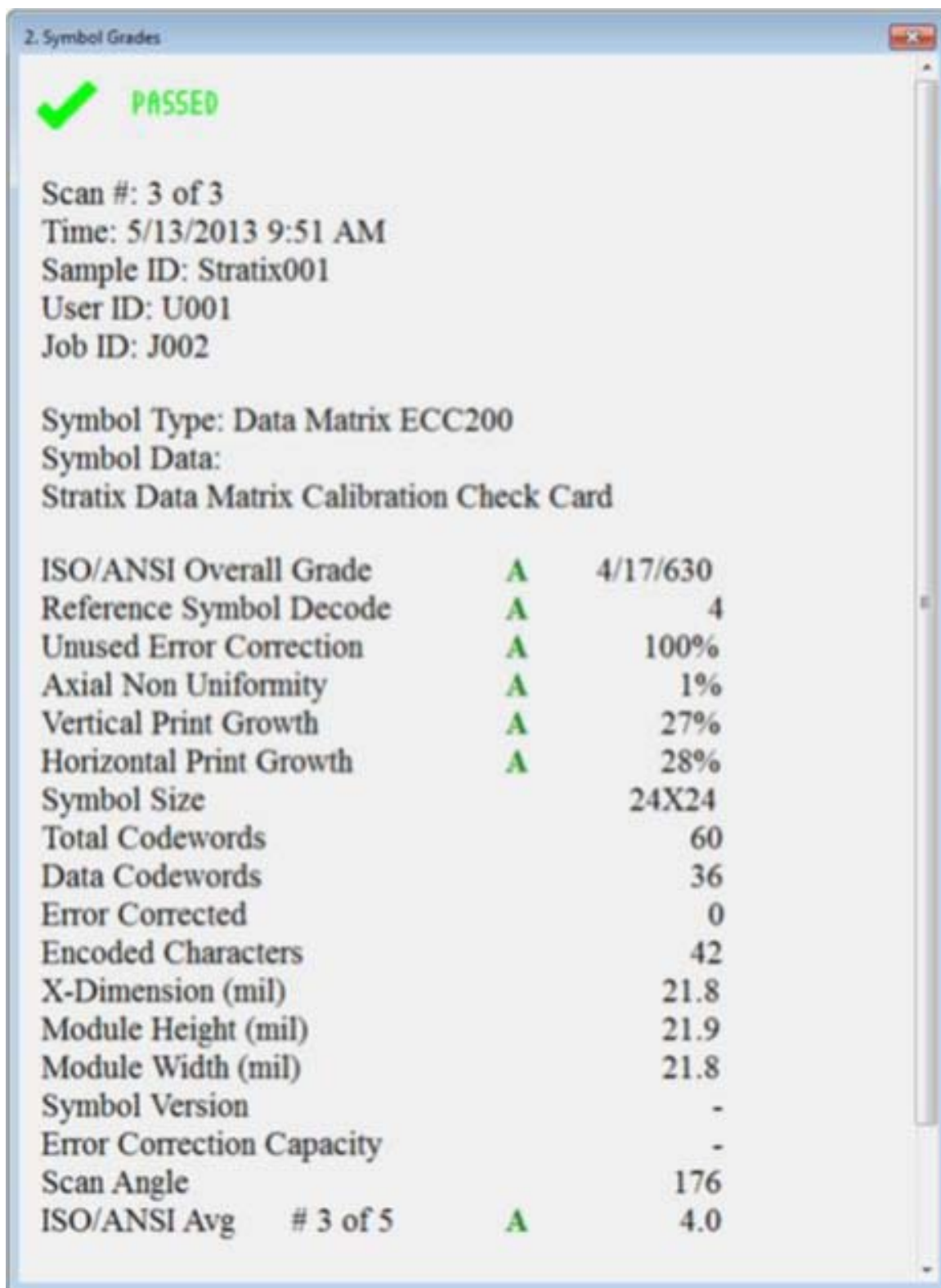


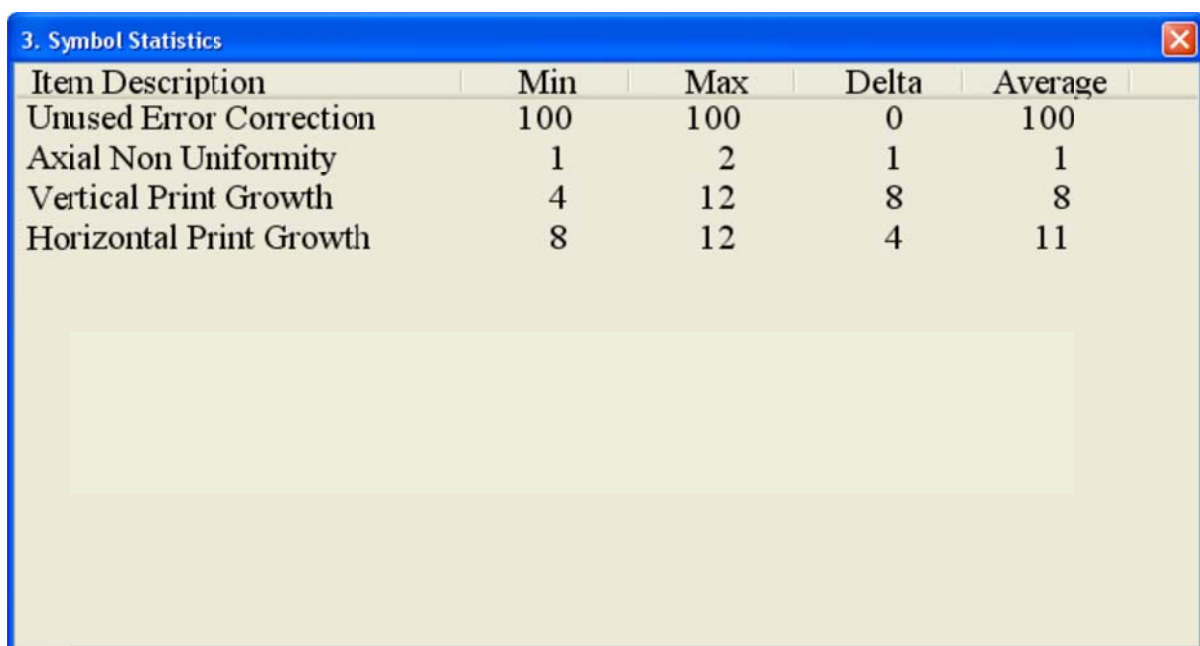
図 2 - 5 (b) データマトリックスのレポート



### シンボル統計画面

シンボル統計画面（図 2 - 6）には、以下のパラメータについてその統計評価を提供します。スキャンしたすべてのレポートの Min（最小）, Max（最大）, Delta(変数)そして Average（平均）が表示されます。統計パラメータに含まれるのは：

- 未使用誤り訂正
- 軸非均一性
- 垂直印字太り
- 水平印字太り



Item Description	Min	Max	Delta	Average
Unused Error Correction	100	100	0	100
Axial Non Uniformity	1	2	1	1
Vertical Print Growth	4	12	8	8
Horizontal Print Growth	8	12	4	11

図 2 - 6



## 章3 ユーザー優先オプション

### パラメータ設定画面にアクセス

ツールのプルダウンメニューから、Parameter Setup を選べば、Parameter Setup 画面が表示されます（図 3 - 1）。設定にはこのオプションを使ってください。

- スタンドの位置
- 分析モード
- サンプル・ユーザー・ジョブ ID
- その他

### スタンド位置の設定

1. **Stand Position** のタブを選んでください（図 3 - 1）。
2. スタンド位置の“1”又は“2”を選択してください（デフォルトは 1 です）。
3. **OK** 又は **Apply** ボタンを選んで設定を完了してください。

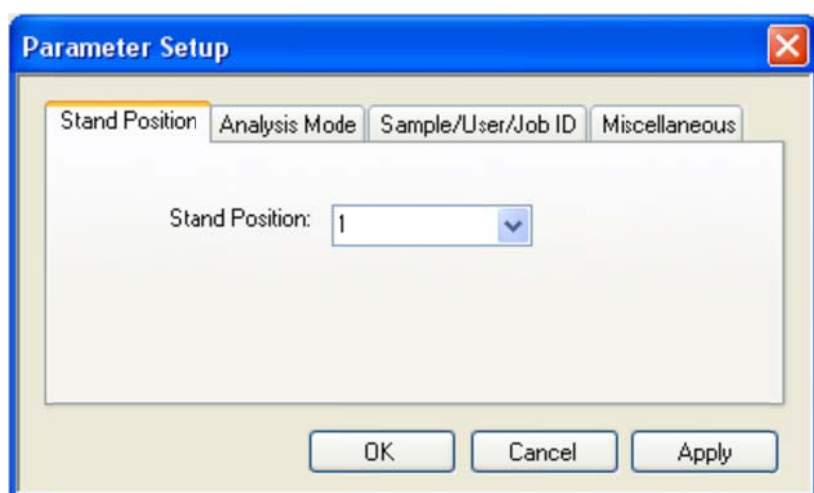


図 3 - 1

### 分析モードの設定

1. **Analysis Mode** のタブを選んでください（図 3 - 2）。
2. **Symbol Pass On** グレードのところでは **A, B, C D** 又は **F** を選択してください（デフォルトは C です）。
3. **Symbol Style** のところでは **Positive**（淡に濃淡）又は **Negative**（濃淡に淡）を選択してください（デフォルトは Positive です）。
4. **OK** 又は **Apply** ボタンを選んで設定を完了してください。

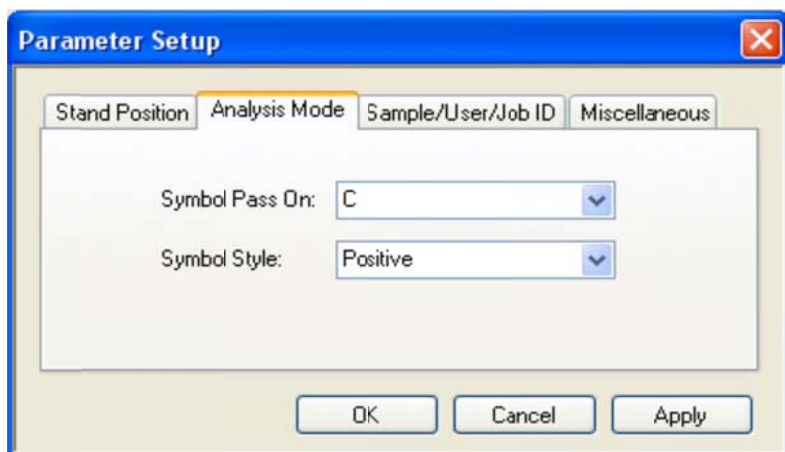


図 3 - 2

### サンプル・ユーザー・ジョブ ID の設定

1. “Sample/User/Job”のタブを選んでください（図 3 - 3）。
2. 必要なサンプル ID、ユーザー ID 及びジョブ ID を入力してください。
3. “OK”又は“Apply”ボタンをクリックして設定を完了してください。

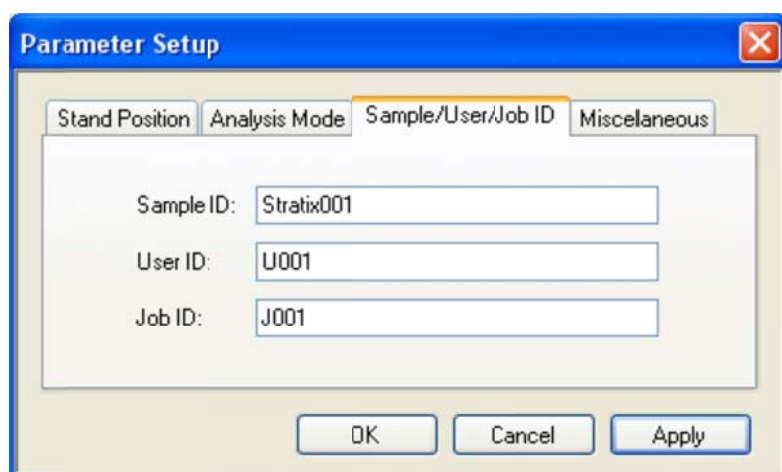


図 3 - 3

### その他の設定

1. “Miscellaneous”のタブを選んでください（図 3 - 4）
2. “Average Scan #”のところに必要な平均スキャン回数を選んでください。
3. “Scanner Beeper”のボックスにチェックを入れてイメージスキャナーの音を有効にするか、もしくはチェックを外して音を無効にしてください。（デフォルトでは有効です）
4. “Calibration Reminder”のボックスにチェックを入れてキャリブレーションを促す事を有効にするか、もしくはチェックを外して無効にしてください。（デフォルトでは有効です）

5. “OK”又は“Apply”をクリックして設定を完了してください。

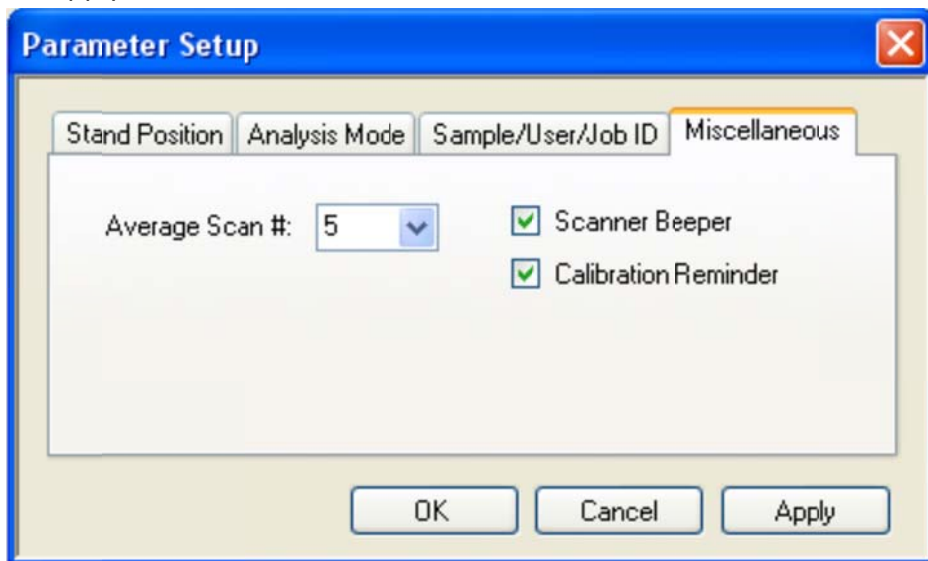


図 3 - 4

### 工場の設定にリセット

1. ツールのドロップダウンメニューから“**Factory Reset**”を選べば、Factory Reset の画面が開きます（図 3 - 5）。
2. “Yes”ボタンをクリックしてリセットを起動し、工場のパラメータ設定を復活させます。

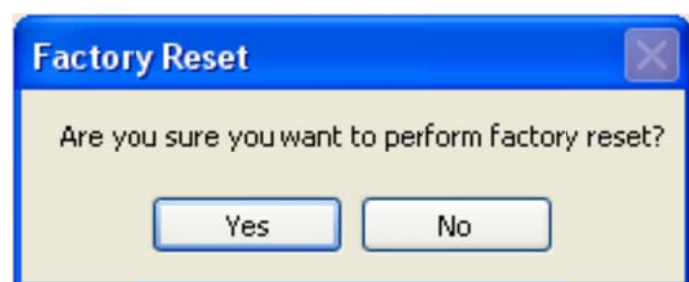


図 3 - 5

### キャリブレーションチェック

1. ツールのドロップダウンメニューから“**Calibration Check**”を選べば、Calibration Check の画面が開きます（図 3 - 6）。

2. “Start”ボタンを押してキャリブレーションチェックを始めてください。もしキャリブレーションチェックが数回やり直しても失敗するようであれば、ムナゾ (株) (Tel: 078-857-5447) に連絡してください。

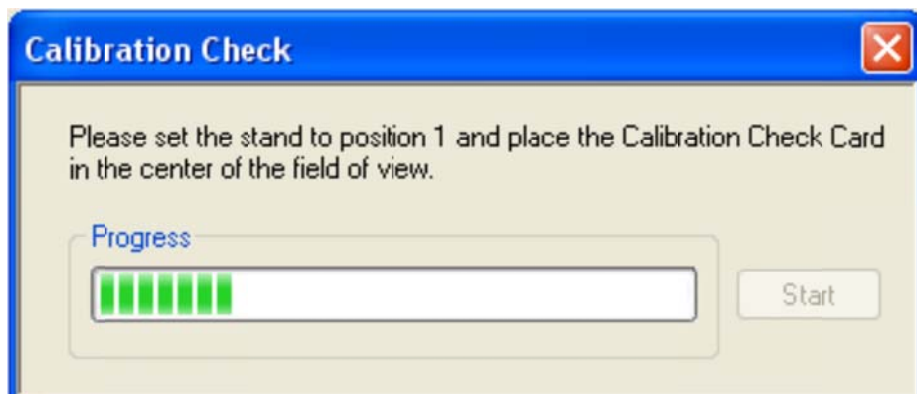


図 3 - 6

**注記：**

1. 検証機のスタンドの位置を“ 1 ”に合わせて、キャリブレーションチェックカードを視野の中央に置いてください (図 3 - 7)。
2. 正確な結果をえるためには、キャリブレーションチェックカードを汚れや傷から守り、汚染していない環境で使用する事が重要です。

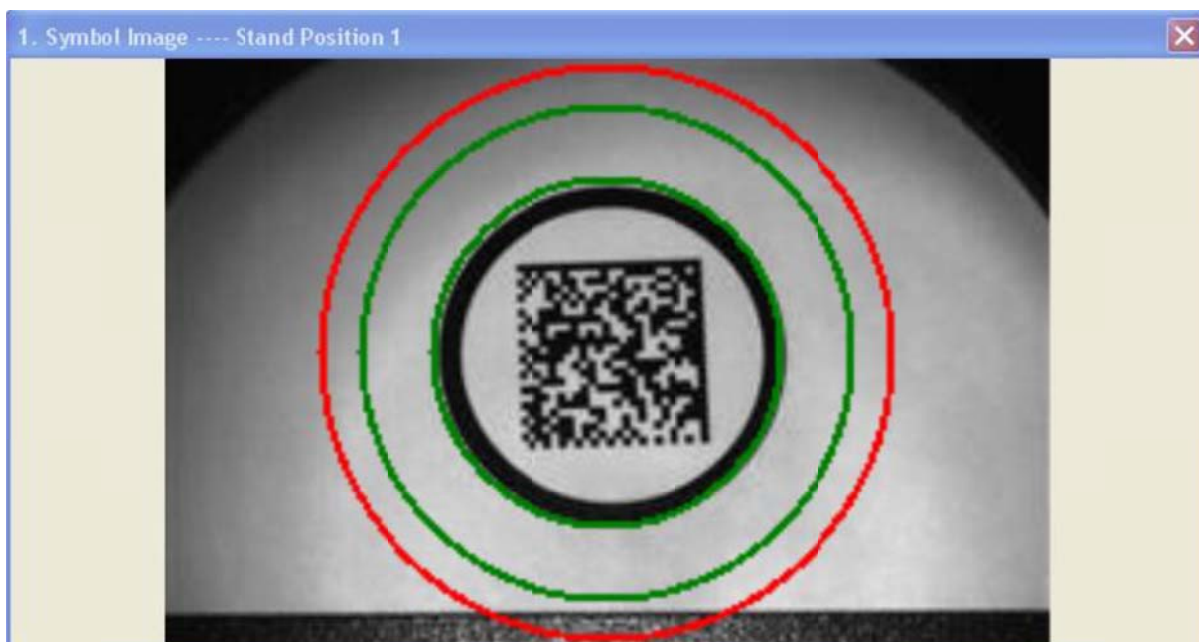


図 3 - 7

## シンボルグレードの設定

Stratix Xaminer eZ-2D のツールバーから画面を選んで、表示されるパラメータをユーザーによって設定することができます。ドロップダウンメニューで“Symbol Grades Setting”を選んでください。選んだ画面が表示されますので（図3-8）、そこからいくつかの分析に必要なパラメータを選択することができます。これらのパラメータは操作中にの変更が可能ですので、表示される結果はそれらに合わせて調整されます。選択が完了しましたら、“OK”ボタンをクリックしてください。

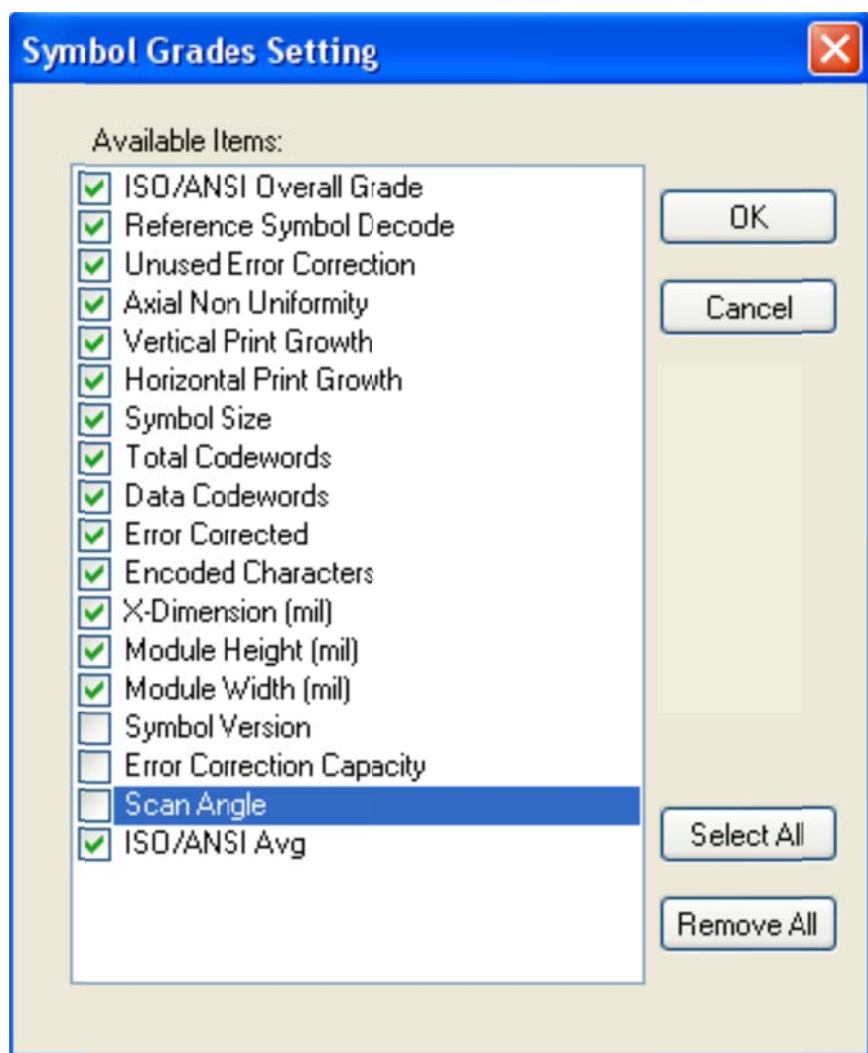


図3-8

## 画面のテキストサイズの設定

1. “View”のプルダウンメニューを開いてください。
2. “Text Size”をクリックすれば、画面が表示されます（図3-9）。
3. “Default”, “Small”又は“Large”ボタンをクリックしてテキストサイズを選んでください。
4. “OK”又は“Cancel”ボタンをクリックして設定を完了してください。

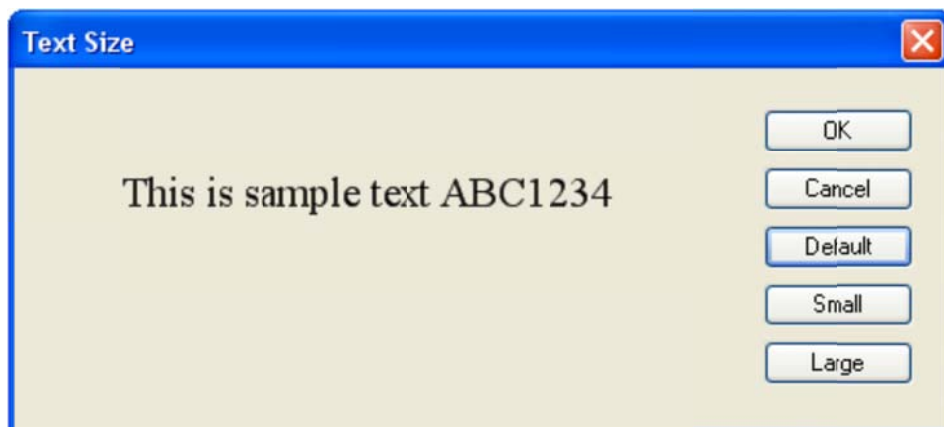


図 3 - 9

## 章 4 GS1 データ構造の認証

### GS1 データ構造の認証の概要

もしデータマトリックスまたは QR コードの最初の文字が、GS1 FNC1 であれば、データマトリックスと QR コードのための GS1 データ構造は GS1 一般仕様書に依じた 5 つのカテゴリにおいて認証されます。

1. アプリケーション識別子(AI)
2. AI データキャラクタ
3. AI データチェックデジット
4. AI データ日時フォーマット
5. AI データ長

### GS1 アプリケーション識別子の詳細

GS1 アプリケーション識別子の詳細（図 4 - 1）は、Xaminer eZ-2D ツールバーからツールを選ぶことによつて表示されます。続くドロップダウンメニューで、GS1 AI 詳細を選んでください。表示される選択画面から、画面の左側から選ばれた違う AI によって右側にアプリケーション識別子の詳細情報が表示されます。

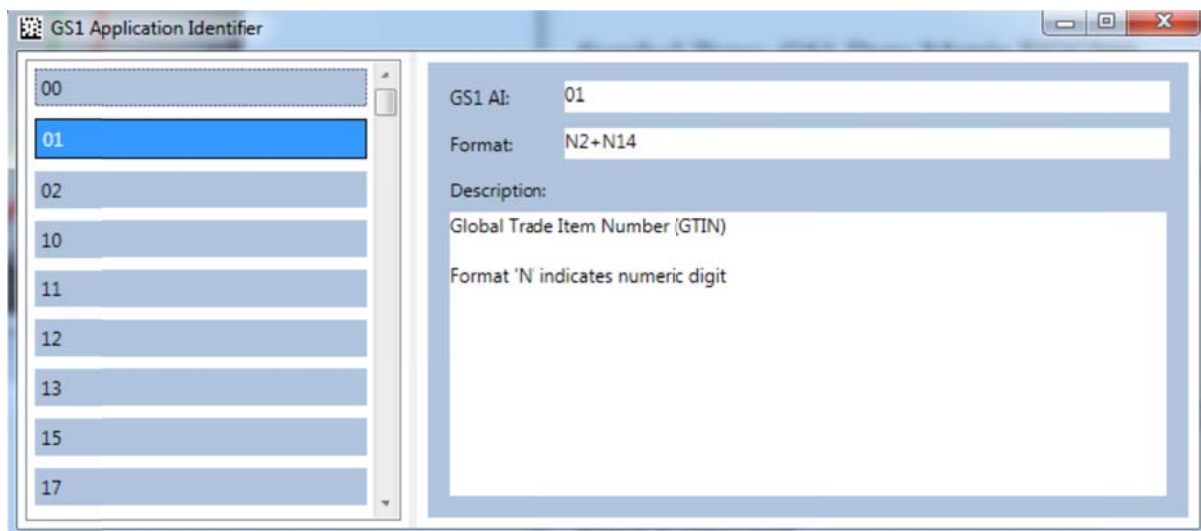


図 4 - 1

### GS1 データ構造

もしバーコードが GS1 データマトリックスあるいは GS1 QRコードであれば、ツールバーの GS1 データ構造ボタン (図 4 - 2) が有効になります。

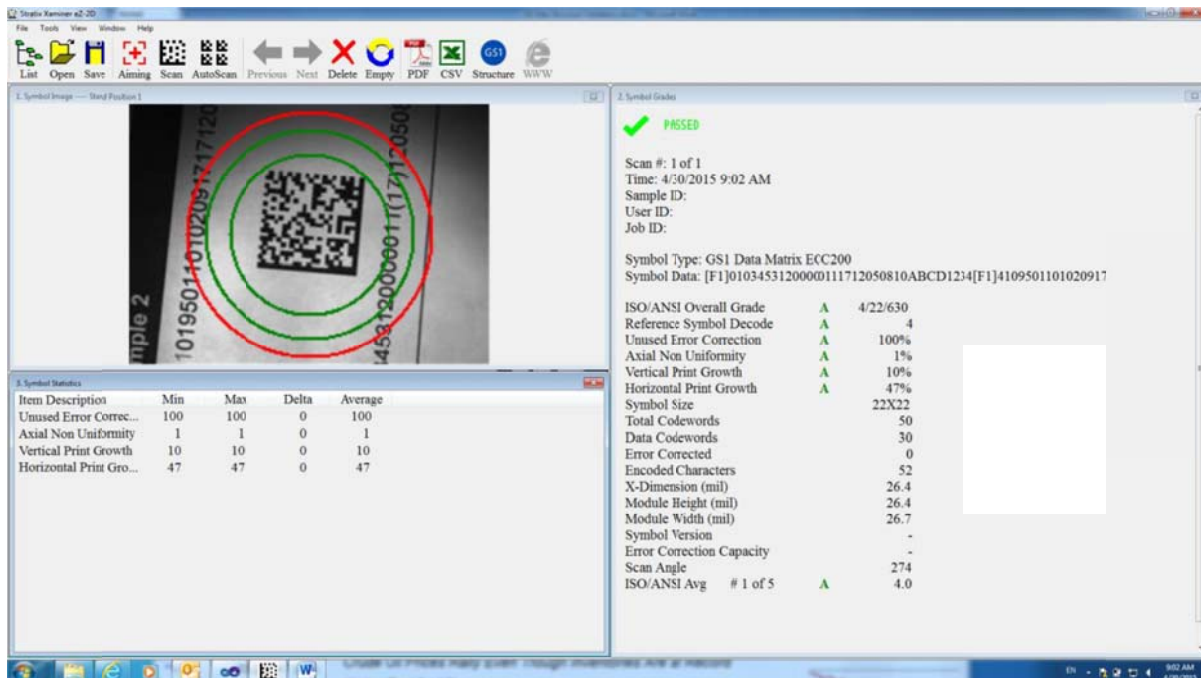


図 4 - 2

“GS1 Structure” ボタンをクリックして、GS1 データ構造を表示します。



GS1 AI	AI Data	Description	Error Message
[F1]		GS1 FNC1	
01	0345312000011	Global Trade Item Number (GTIN)	
17	120508	Expiration Date (YYMMDD)	
10	ABCD1234	Batch or Lot Number	
[F1]		GS1 FNC1	
410	9501101020917	Shp to - Deliver to Global Location Number	

図 4 - 3

## 章5 レポートをエクスポート

もしコンピュータにマイクロソフトエクセルがインストールされていれば、スキャンされたものに対する検証レポートはマイクロソフトエクセル CSV ファイルとしてエクスポートすることができます。

以下のデータはデフォルトとしていつもエクスポートされます：シンボルタイプ、シンボルデータ、シンボルの合格・不合格、サンプル ID、ユーザー ID、ジョブ ID、時間及びエラーメッセージ。ユーザーはツールバーの **Window** を選んで後に **Symbol Grades Setting** を選ぶことにより、エクスポートされたデータを構成する事ができます。

エクスポートするためには、ツールバーの **Excel** アイコンを選んでください。エクスポートをする操作は自動的にあらかじめフォーマットされたカラム表題が付いたエクセルスプレッドシートを開き、操作は、個々の記録の結果を適切なカラムに置きます（図 5 - 1）。標準エクセルツールを使ってユーザーの好みに合わせてカラム幅を調整する事ができます。いったん作成されましたら、Excel CSV ファイルは、標準 Excel ツールを使って Excel ワークシートとして保存されます。



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
	Symbol Ty	Symbol D	Pass/Fail	Sample IC	UserID	JobID	ISO/ANSI	ISO/ANSI	Reference	ReferenceUnused	Er	Unused E	Axial Non	Axial Non	Vertical
1	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
2	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
3	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
4	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
5	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
6	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
7	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
8	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
9	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
10	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
11	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
12	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
13	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
14	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
15	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
16	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
17	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
18	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
19	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
20	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
21	QR Code	http://ww	Passed	Stratix001 U001	J001	J001	A	4/20/630	A		4 A	100% A	0% A		
22															

図 5 - 1

### アドビ PDF ファイルにレポートをエクスポート

現在表示されている検証レポートは、レポートをアーカイブするか、又は印刷するためにアドビ PDF ファイルとしてエクスポートできます。

エクスポートするためには、ツールバーの **PDF** アイコンを選んでください。エクスポートする操作によって、あらかじめフォーマットされた走査レポート付きの PDF ファイル（図 5 - 2）を自動的に開きます。いったん作成されれば、PDF ファイルを保存するか又は印刷できます。

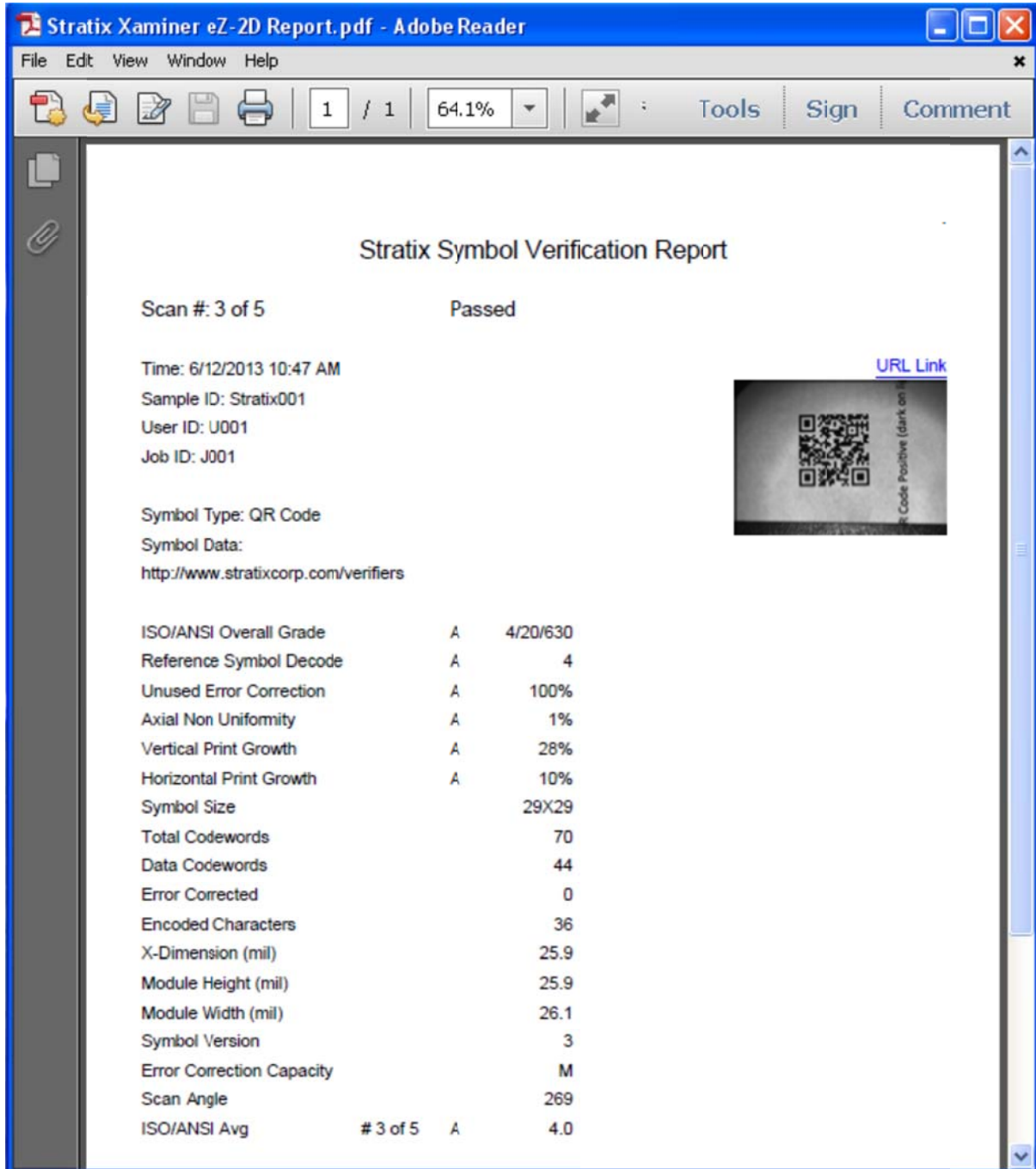


図 5 - 2

PDF レポートには GS1 データマトリックス及び GS1 QR コードの PDF ファイルの 2 ページ目に GS1 データ構造レポートがあります (図 5 - 3 a & 5 - 3 b)。

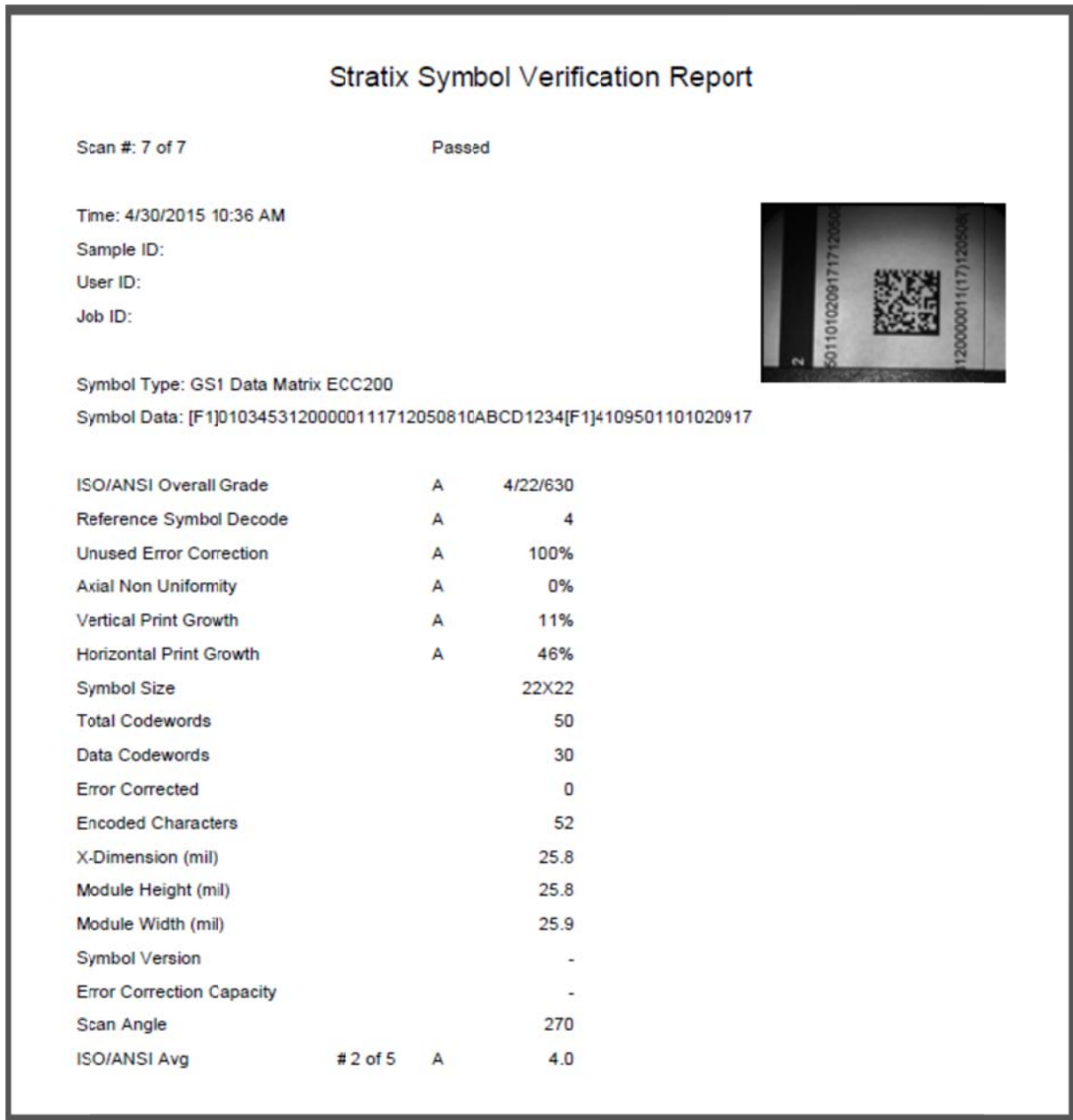


図 5 - 3 a

GS1 Data Structure			
Symbol Type: GS1 Data Matrix ECC200			
Symbol Data: [F1]01034531200000111712050810ABCD1234[F1]4109501101020917			
GS1 AI	AI Data	Description	Error Message
[F1]		GS1 FNC1	
01	03453120000011	Global Trade Item Number (GTIN)	
17	120508	Expiration Date (YYMMDD)	
10	ABCD1234	Batch or Lot Number	
[F1]		GS1 FNC1	
410	9501101020917	Ship to - Deliver to Global Location Number	

図 5 - 3 b

## 章6 エラーメッセージ

下記の表には Stratix Xamiiner eZ-2D バーコード検証機を使用するにあたって遭遇する可能性のあるエラーメッセージをリストアップしております。表には各エラーメッセージに対する解決策をも記載しております。問題が解決しない場合は、ムナゾ (株) 078-857-5447 までご連絡ください。

### システムエラーメッセージ

エラーID	エラーメッセージ	解決策
ID_1000	スキャナーが見つからない	スキャナーを PC USB ポートに接続する
ID_1001	キャリブレーションファイルが見つからない	Stratix Xaminer eZ-2D 検証機キャリブレーションファイルを CD1 から再インストールする
ID_1002	PDF ファイルにアクセス中に共有の違反が起きました	Stratix Xaminer eZ-2D から開かれた PDF ファイルを閉じる

エラーID	エラーメッセージ	解決策
ID_1003	検証機の再キャリブレーションの期限切れ	ムナゾヲに連絡。再キャリブレーションの必要性
ID_1004	10 日後には検証機の再キャリブレーションを行う必要があります	ムナゾヲに連絡。再キャリブレーションの必要性
ID_1005	CSV ファイルにアクセス中に共有の違反が起きました	Stratix Xaminer eZ-2D から開かれた CSV ファイルを閉じる
ID_1006	キャリブレーションチェックに失敗しました。再度試みてください。	検証機のスタンドの位置及びキャリブレーションチェックカードの確認してください。
ID_1007	SDMD.dll にアクセス中に違反が起きました	CD2 から Stratix Xaminer eZ-2D のソフトウェアを再インストールしてください
ID_1008	レポートファイルを保存中に違反が起きました	ムナゾヲに連絡してください
ID_1009	デコーダエラー。OK をクリックしてアプリケーションを終了してください	Microsoft Visual C++2010 Redistributable Package (x86)を下記リンクからダウンロードして、インストールしてください。 <a href="https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=5555">https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=5555</a>
ID_1010	無効なキャリブレーションファイル	CD1 から Stratix Xaminer eZ-2D 検証機のキャリブレーションファイルを再インストールしてください。
ID_1011	スキャナーは SNAPI モードではありません。スキャナーをリセットしてください	"Scanner Reset" (スキャナーリセット) の条項のところの3つのバーコードをスキャンして、アプリケーションを再スタートしてください
ID_1012	スキャナーのドライバが見つかりません。OK をクリックして、アプリケーションを終了してください	CD2 からスキャナードライバをインストールして、アプリケーションを再スタートしてください
ID_1013	レポートファイルを開いている最中に違反が起きました	ムナゾヲに連絡してください
.Net Framework 初期化エラー	.Net Framework 初期化 エラー OK をクリックしてアプリケーションを終了してください	下記リンクから Microsoft.NET Framework 4.5 をダウンロード及びインストールしてください

## スキャナーのリセット

下記の三種類のバーコードラベルを順番にスキャンしてください：

1. スキャナーパラメータスキニングを有効に



2. スキャナー工場デフォルトを設定

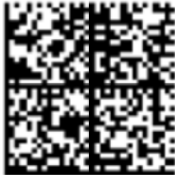


3. スキャナーSNAPIモードに設定



## 付録 A : 2D バーコードサンプル

### A1. データマトリックス サンプル



データ・マトリックス・ポジ (淡に濃淡)



データ・マトリックス・ネガ (濃淡に淡)

### A2. QR コードサンプル



QR コード ポジ (淡に濃淡)



QR コード ネガ (濃淡に淡)